

平成27年9月7日
九州電力株式会社

離島の再生可能エネルギー発電設備に対する接続可能量算定結果 及び接続申込みの回答再開について

当社管内では、離島においても、太陽光を中心とした再生可能エネルギー（以下、再エネ）の導入が急速に進んでおります。

これに伴い、平成26年7月25日に、再エネの受付済み量（接続済量と接続申込量の合計）が接続可能量（目安）を超過した6離島（壱岐、対馬、種子島、徳之島、沖永良部島、与論島）において、接続申込みへの回答を保留させていただきました。

また残りの3離島（喜界島、奄美大島、甌島）についても、平成26年11月27日に接続可能量（目安）を公表するとともに、平成27年1月29日に、喜界島について、接続申込みへの回答を保留させていただきました。

当社では、回答保留以降、国において整理された九州本土における再エネの接続可能量の算出方法に基づき、系統に接続済みの再エネ等の出力状況及び電力需要のデータ収集・分析などを踏まえ、接続可能量の精査を行ってまいりましたが、このたび、9離島（壱岐、対馬、種子島、徳之島、沖永良部島、与論島、喜界島、奄美大島、甌島）の接続可能量の算定結果、及び今後の対応について、別紙のとおり取りまとめましたのでお知らせいたします。

受付済み量が、接続可能量（今回公表値）を超過している5離島（壱岐、種子島、徳之島、沖永良部島、与論島）については、今春出力制御を実施した種子島同様、今秋以降に再エネの出力制御を実施する可能性があります。また、その他の離島についても、今後、再エネの導入が進んだ場合、出力制御が必要となる可能性がありますのでご理解とご協力をお願いします。

なお、事業者さまを対象とした今後の対応に関する説明会の開催を予定しております。説明会開催の詳細につきましては、別紙を参照願います。

当社としましては、電力の安定供給を前提として、各種再エネの特徴を活かしながら、バランスの取れた再エネの導入に最大限取組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上

（別紙1）接続可能量算定結果と今後の対応

（別紙2）離島の再生可能エネルギー発電設備に対する接続可能量の確定と
接続申込みの回答再開について